



学会ホームページ <http://jasce.jp>

019号(2014年3月25日)

目次

- 2014年全国大会
- 実行委員長あいさつ
- 協同学習1日ワークショップ報告
- 学会ワークショップ 今後の予定
- 各地の研究会・勉強会
- 会員からの報告
- 国際協同教育学会ニュース
- 出版情報

2014年全国大会

実行委員長あいさつ

本会設立10周年の佳節にあたり、第11回全国大会を創価大学で開催できること、実行委員一同、大変に嬉しく、また光栄に思っております。10年という節目の意義を込めて、大会のテーマは「新たな10年に向けて、協同教育の潮流をより広く、より深く」と致しました。

今回の大会の特徴の一つは、大学教育関係の参加者と初等中等教育関係の参加者、それぞれを意識した多くのワークショップが、大会企画として用意されていることです。

詳しくは4月以降、大会情報をホームページで発信して参りますが、10月24日の午後には「看護教育と協同学習」、「英語による授業における協同学習」など、主に大学の先生方を念頭にこいたワークショップと小講演を用意

いたします。25日には、生徒指導や学級経営と協同学習の繋がりや、特別支援教育における協同学習の可能性など、小中学校の現場の課題を考えるラウンドテーブルを計画しています。更に最終日の午後には、「高校の先生のための協同学習入門」「小・中学校の先生のためのアサーショントレーニング」など、実践的なワークショップを準備しています。

もう一つの特徴は、共催や後援の形で積極的に他団体・組織との共同を進めていることです。

創価大学には2月末現在、13名の会員がおります。そのうち、実行委員会は教育学部の先生方を中心に、共催いただく学士課程教育機構や教職大学院の先生方など8名で構成しております。

また、「アドラー心理学と協同学習」に関する小講演を大会企画として実施するのを受け、日本臨床・教育アドラー心理学研究会との共催でアドラー心理学に基づく学級経営のあり方として「クラス会議」のワークショップも設定する予定です。

さらに東京都や八王子市の教育委員会にも後援をお願いしていきます。このようにして、より多くの方の大会参加を促したいと考えています。

創価大学は1971年に法・文・経済の3学部で開学し、現在は工学部や看護学部を含む8学部に約8000名の学生が学ぶ中規模総合大学です。皆さんをお迎えする会場は昨年9月に竣工したばかりの中央教育棟です。

ちょうど、大会が開催される10月25、26日の週末は通信教育部の秋期スクーリングが開催されており、全国から数千名の通教生が集っております。きっと建物全体が向学の活気に漲っているでしょう。

ただ、大会とスクーリングの時期が重なっているため、八王子市内の宿泊施設は込み合うことが予想されます。地方からご参加のみなさまはお早めに宿泊先の確保をお勧めします。

多くの方々のご参加を、実行委員会一同心よりお待ち申し上げます。

(大会実行委員長 関田一彦)



会場になる中央教育棟

【今後の予定】

- 発表申込受付 5月1日～6月30日
- 発表要旨締切 7月30日
- 大会プログラム公開 7月1日
- 事前申し込み 5月1日～9月15日
- 大会 10月24日(金)～26日(日)

JASCE

協同学習1日ワークショップ報告

今年度も学会主催の「協同学習1日ワークショップ」が開催されました。どの回も午前9時30分から開始し、午後4時まででした(昼食休憩60分)。

- 1月26日(日)小松市
こまつ芸術劇場うらら12名
- 2月16日(日)岡山市
ピュアリティまきび18名
- 3月21日(金)津市
三重県教育文化会館16名

この一日ワークショップは、協同学習を日常の授業へどう位置付け、どう展開していくかを中心として内容を編成しています。はじめての方でも明日からの授業にすぐに活用できるように、協同学習を参加者が共に協同学習しな

からその理念や手法を体得するように展開します。

この講習には、学校教員や大学関係者をはじめとして様々な方が参加しており、多彩な意見交換やそれぞれの現場の実践や実態等を交流する良い機会となっています。

今年度の参加者の校種別の比率は、小学校・中学で校約30%、高校約15%、大学(学生も含む)約20%、その他(専修学校等)約5%でした。男女比は約3対2で、和やかな会話が会場を盛り上げています。

参加者の率直な感想

「今回のセミナーは、大変勉強になることばかりでした。お話の中から、協同学

習で大事にされていることがよくわかりました。グループワークもとても楽しかったです。授業で教科の力をつけながら仲間づくりをするように、ワークで協同学習について学びながらグループの方との連帯感が高まっていくように感じました」

(文責 有本高尉)



●学会ワークショップ 今後の予定

◇ベーシック:

8月30日(土)～31日(日)
南山大学(名古屋市)

◇アドバンス:

11月15日(土)～16日(日)
南山大学(名古屋市)

●各地の研究会・勉強会

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇3月研究会(3月15日)報告

報告1

石丸文敏(小郡市立大原小学校)

題目:「協同学習を用いたわり算の

指導:自閉症・情緒障害特別支援学級における実践」

報告2

小川雅広(山口県立大学)

題目: My Life-from Rice PB to LTD(私の人生:米プロテインボディ研究から話し合い学習まで)

会場は久留米大学御井学舎。38名の参加があり、大盛況でした。

◇2014年度の日程が決まりました。

5/17(土)、7/19(土)、9/27(土)、11/15(土)、12/13(土)。

時間は午後1時から午後5時までです。なお、7/19(土)は「第2回 協同学習フェスタ」とします。時間は午前10時から午後4時30分までの予定です。ご連絡は安永悟まで。

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇2月例会(2月3日)報告

テーマ:「多様校における言語活動の充実～国語表現「ブクトーク」の実践を通して～」

報告者:石田 実貴(三重県立桑名北高等学校教諭)

会場は名古屋大学教育学部。参加者20名。読書習慣がほとんどなかった生徒たちがどのようにして本と出会ったか、どのようにして自分なりに語る言葉(自分を語る言葉)を見つけていったか。感動的な報告でした。ご連絡は水野正朗まで。

(mizunokita@yahoo.co.jp)

JASCE

会員からの報告

会員が各地で素晴らしい実践研究を展開しています。今回はその一事例をご紹介します。

ピア・サポート・トレーニングと不登校予防：短報

静岡県立浜松江之島高等学校 教諭 山口権治

不登校の主な形成要因は学校に存在している。すなわち、学校の中にストレス要因があり、それが不登校につながっていると考えられる。ただ、これらの要因に対処するコーピングスキル、すなわち①ソーシャルスキル(人とうまく付き合っていく技能)と②セルフコントロール(逆境に耐え、踏みとどまれる能力)の2つを学べば、学校に適應できるようになり、ストレス反応が低下することが分かっている。

本校での10回のピア・サポート・トレーニングを受けた生徒の事後アン

ケートを見ると、「本活動を通して、他の参加者と良好な関係が築けたと思いますか?」との問いに、全員が他の参加者と良好な関係を築くことができたと答えた(「そう思う」が84.8%、「まあ、そう思う」が15.2%)。

また「本活動を通して、他の参加者から支えられていると思うようになりましたか?」との問いには、ほぼ全員が他の参加者から支えられていると思うようになったと答えた(「そう思う」が78.8%、「まあ、そう思う」が18.2%、「それほど思わない」が3.0%)。

トレーニングに参加した生徒の中には、過去に不登校を経験した者もいるが、現在は元気に学校生活を送っている。学校におけるコーピングスキルを生徒が学べば、彼らの不登校を予防する可能性が高くなる。

本校でのトレーニングを通して、参加した生徒のほぼ全員が、2つのコーピングスキルを習得した。ピア・サポート・トレーニングは、不登校防止に効果があると考えられる。

●国際協同教育学会ニュース ＜2015年デンマーク大会のお知らせ＞

昨年7月にイギリスのスカボローで開催された国際協同教育学会に日本から5名が参加・発表し、世界中から集まった協同の仲間たちと親睦を深め、お互いの実践や研究を学び合いました。次の国際学会は、来年(2015年)10月1日～3日にはデンマークのオ

デンセにあるLillebaelt大学において開かれます。各国での協同学習の実践を学ぶ貴重な機会になることは間違いありません。発表の申し込み方法など詳しいことが決まりましたら、またお知らせします。

●出版情報

名古屋大学教育学部附属中・高等学校が編著者の『協同と探究で

「学び」が変わる一個別的・ドリルの学習だけでは育たない力」が学事出版から出版されました。協同的探究学習法など興味深い取り組みが紹介されています。



全国大会の会場となる創価大学が位置する八王子市は東京の西のほずれ、都心からは電車や車で約1時間の距離にあります。戦国時代に関東の覇者、北条氏の支城として八王子城が築かれたのが市名の由来ともいわれます。明治に入り、横浜への生糸輸送の要衝として栄え、戦後、一時は全国のネクタイの過半数を生産

していたこともあり。高度経済成長期には東京のベットタウンとして市街化が進み、今は人口50万を超える

八王子プチアピール

中核都市となっています。同じ頃、都心の大学が多く移転し、現在でも高専や短大も含め20以上の大学が所

在する学園都市でもあります。

10月はまだ紅葉には少し早い時期ですが、ミュッシュランの観光ガイドで紹介されて人気のハイキングスポット高尾山、印象派など充実の常設展に加え、ユニークな特別展で注目される東京富士美術館、玉ねぎのみじん切りが特徴的な八王子らーめん等、何かと気になる八王子です。